



# 6月号 えんだより



社会福祉法人こばと会

あおぞら保育園

多摩市落合 1-5-16

☎042-375-1330

## 6月の予定

日	曜日	行事予定	対象
11	火	誕生会	各クラス
13	木	避難訓練	全クラス
18	火	歯科検診	全クラス

おたんじょうび  
おめでとう



HAPPY  
BIRTHDAY



寮 美千子 「あふれでたのは優しさだった」

「空が青いから白をえらんだのです」(新潮文庫)が生まれた場所で起こった数々の奇跡を描いた、渾身のノンフィクション。

奈良少年刑務所で行われていた、作家・寮美千子の「物語の教室」。

絵本を読み、演じる。詩を作り、声を掛け合う。

それだけのことで、世間とコミュニケーションを取れなくて罪を犯してしまった少年たちが、身を守るためにつけていた「心の鎧」を脱ぎ始める。

本書を読むと、「人間ていい生き物だな」と心底思えます。

本の紹介文です。

先日、多摩市諏訪で活動している※ハーモニーという会合で、今年10月に行う講演会の内容を話し合いました。その際、当法人の職員から表題にある寮美千子さんをぜひお招きしたいとの意見があがり、書籍を調べ、読んだところとても素敵な活動をされたことが分かりました。

奈良少年刑務所(現在閉鎖)は、重大犯罪を起こした17歳~25歳の受刑者たちが収監される刑務所です。受刑者たちに矯正プログラムを施してるだけでは再犯を止めることはできないと、刑務所の職員が新たに作った「社会性涵養プログラム」にひよんなことから参加したのが作者。自分の物語を詩という形を通して表現すること、そしてそれを仲間に受け入れられることで、上記のように受刑者たちが心のよりどころを取り戻していくプロセスを詳細に記述しています。

犯罪者というレッテルだけで作られたイメージ。本を読み進め、少年たちの心の中身を詩を通して垣間見ることにより、すべてのことには理由があるのだと、改めて気づかされるものであり、幼少期を通じた子育て環境の重要性や大人という環境の重要性を深く感じずにはられませんでした。

まずは、多くの人に共有していただきたいと願い、保育園で4冊購入いたしました。事務所に置いて置きます。ご興味のある方はぜひ書籍を手にとっていただければと思います。

## 寮 美千子 講演会

日時 10月13日(日)

午後0時30分~(予定)

会場 永山公民館 5階ベルブホール